

全国農業高校・農業大学校デジタルコンテスト審査要領

■スマート農業部門

【実践コース】

テーマ：スマート農業の導入や独自の活動による地域課題解決やスマート農業普及拡大の取組

●審査方法

- 本審査：本審査員によって審査を実施。

審査終了後に審査員会を開催。応募作品を審査し、(2校)を選出。

(協賛企業・団体により変更の可能性あり)

※なお、応募作品の全体数が10点を越える場合は、農林水産省において、事前審査を行い、本審査に選出する作品を10点選出する。

●審査項目

【審査のポイント】

「スマート農業の導入や独自の活動により地域の課題解決やスマート農業の普及拡大に貢献できたか」

- ・スマート農業の導入や独自の活動による地域課題解決やスマート農業の普及拡大の成果
- ・取組内容の独創性
- ・作品の構成が見やすく、伝わりやすいものになっているか

(本審査)

1. スマート農業の導入や独自の活動による地域課題解決やスマート農業の普及拡大の成果 (60点満点)
2. 取組内容が今までにない独創的なものであるか (20点満点)
3. 作品の構成が見やすく、伝わりやすいものになっているか (20点満点)
4. その他、上記以外の評価すべき点がある

※得点(100点満点)及び4.の評価を加味し、得点上位から各賞を決定

【アイデアコース】

テーマ：スマート農業の導入による地域課題解決のアイデア

●審査方法

- 本審査：別添審査員によって審査を実施。

審査終了後に審査員会を開催。応募作品を審査し、(2校)を選出。

(協賛企業・団体により変更の可能性あり)

※なお、応募作品の全体数が10点を越える場合は、((案)農林水産省)において、事前審査を行い、本審査に選出する作品を10点選出する。

●審査項目**【審査のポイント】**

「スマート農業を導入することにより地域の課題を解決できる可能性があるアイデアか」

- ・柔軟な発想や手法等に基づく、独創性の高いアイデアであるか
- ・具体的な内容で実現可能なアイデアであるか
- ・作品の構成が見やすく、伝わりやすいものになっているか

(本審査)

1. 柔軟な発想や手法等に基づく、独創性の高いアイデアであるか (50点満点)
2. 具体的な内容で実現可能なアイデアであるか (30点満点)
3. 作品の構成が見やすく、伝わりやすいものになっているか (20点満点)
4. その他、上記以外の評価すべき点がある

※得点(100点満点)及び4.の評価を加味し、得点上位から各賞を決定

■ ホームページ部門

● 審査方法

- 1次審査：全国の農業高校（農業系学科を設置している高校を含む）及び農業大学校・民間農業研修教育機関を対象に審査評に基づき審査。その点数に基づき、農業高校は各都道府県代表48校（北海道は2ブロック）、特別推薦校数校を選出、農業大学校及び民間農業研修教育機関についても数校を選出。

審査はアグリプラットフォームコンソーシアム幹事企業及び事務局で実施。

- 本審査：本審査員によって審査を実施。

審査終了後に審査員会を開催。一次審査選出校を対象に審査し、数校を選出。

（表彰校数は協賛企業・団体により変更の可能性あり）

● 審査項目

【審査のポイント】

「夢のある農業を描き、自分たちらしい活動をしているか」

- ・ ホームページの充実度
- ・ コンテンツ（活動）の創造性

（1次審査）

- 1-1. 情報をわかりやすく掲載し、見やすいホームページ構成か
- 1-2. 新鮮な情報をタイムリーに掲載し、積極的に発信しているか
- 2-1. 地域連携、他校連携などの独自の情報を発信できているか
- 2-2. ICT活用に積極的に取り組んでいるか

（特別推薦校）

その他取り組みや活動など、1-1～2、2-1～2以外の評価できる点がある

（本審査）

1. 学校の特徴や独自の活動をホームページを有効に活用して発信できているか
 2. ICTの活用など、新たな取り組みに挑戦しているか
 3. 今の日本の農業界にとって有効と感じる活動がある
 4. その他取り組みや活動など、上記以外の評価すべき点がある
- ※得点（30点満点）及び4.の評価を加味し、得点上位から各賞を決定